令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	3-1																																																	
PDCA	主要事業名	第7次総合計画推進事業	部課名	企画部企画課	担当	竹之越																																																	
					内線	227																																																	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 99 - 99 単位施策： 単位施策省略 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 377 千円 会計 一般会計 歳出科目：02.01.06.18.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 700 千円																																																						
	事業概要等 事業概要： 令和3年度からスタートする第7次総合計画について、本計画で示した目指す将来の姿を市民と共有し、多様な主体と協働して推進するため、キックオフイベントとしてシンポジウムを実施します。併せて、SDGsの普及啓発のため、SDGsに先進的に取り組む企業の事例紹介及びパネルディスカッションを実施します。また、市民評価委員会による施策評価を行う。 事業目的： 令和3年度からスタートする第7次総合計画とSDGsの普及啓発活動及び総合計画の適切な進行管理を行う。 事業内容： 第7次総合計画のキックオフイベントとして、シンポジウムを開催し、総合計画とSDGsの普及啓発を行います。また、総合計画の適正な進行管理に向けた評価事業の検討を行う。 問題点・課題等： 本イベントに限らず、多くの市民に周知できるよう、様々な機会を通じて啓発等を行う必要がある。																																																						
	予算額 377 千円 主要事業とする理由 第7次総合計画の将来の都市像「人がまちを育み まちが人を育む 『チャレンジあふれる都市・はんだ』」の実現の向け、協働のパートナーである市民と目指すべき将来の姿と進むべき方向を共有することが重要であるため。																																																						
	財源内訳 市費 377 千円 得られる成果 半田市の総合計画をPRし、目指す姿を共有することで、市民を始めとした多様な主体と協働でまちづくりを進めることができる。																																																						
	国費 0 千円 目標値や目指すべき状態																																																						
	県費 0 千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キックオフイベントの参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							実績値	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	キックオフイベントの参加者	—	—	—	—	300	人		—	—						—	—						—	—						—	—						—	—				
		実績値	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																																
	キックオフイベントの参加者	—	—	—	—	300	人																																																
		—	—																																																				
		—	—																																																				
	—	—																																																					
	—	—																																																					
	—	—																																																					
その他 0 千円																																																							
D 値得られた成果と実績	決算額 49 千円 得られた成果 コロナの影響によりキックオフイベントは中止となったが、小中学生を対象に「未来のはんだ」をテーマにポスターコンクールを実施し、198点の応募があった。入賞作品（8点）を市報に掲載するとともに展示会を開催し、まちづくりに関するPRを行った。また、総合計画の適正な進行管理を行うための新たな評価制度の策定に向けて、市民評価委員を選定し、制度内容への意見を伺うとともに共有を図った。																																																						
	成果指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キックオフイベントの参加者</td> <td>0</td> <td>300</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							実績値	目標値	令和3年度	単位	キックオフイベントの参加者	0	300		人																																							
		実績値	目標値	令和3年度	単位																																																		
キックオフイベントの参加者	0	300		人																																																			
C 事業の評価・課題 第7次総合計画のテーマである「チャレンジ」を市報を始め様々な場面で使用することで将来の都市像を意識し事業を展開することができた。また、小中学生を対象に「未来のはんだ」をテーマにポスターコンクールを実施し、入賞作品を市報に掲載するとともに展示会を開催しPRをすることで、市民が未来のまちづくりについて考えるきっかけとなった。																																																							
C 課題の整理	終了 今後の事業の方向性 計画策定後初年度のみのものであるため終了とする。今後は、3か年実施計画の策定や庁内及び市民による評価等、適正な進行管理を行い総合計画を推進していく。																																																						
	A 課題解決に向けた 観点別評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ない</td> <td>⑧削減余地 ※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地 ない</td> </tr> </tbody> </table>						必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧削減余地 ※対象・手段の変更	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																					
必要性	有効性	効率性																																																					
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある																																																					
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧削減余地 ※対象・手段の変更																																																					
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																																					

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）